

肝胆膵内科を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	膵腫瘍に対する超音波内視鏡下穿刺吸引生検（EUS-FNA）後の穿刺経路腫瘍細胞播種（ Needle tract seeding ）の前向き全国調査
研究機関名及び 研究機関の長 （試料・情報の管理 責任者）	愛知医科大学病院 病院長 天野哲也
研究責任者	内科学講座（肝胆膵内科） （職名）准教授 （氏名）井上匡央
試料・情報の利用目的 及び利用方法	<p>〔利用目的〕 EUS-FNA 後の Needle tract seeding の年間発生率を検討すること及び発生要因および予後規定因子を解明することを目的としています。</p> <p>〔対象となる患者さん〕 2023年3月から2027年8月までに、膵悪性腫瘍を疑う腫瘍に対して、経胃的な EUS-FNA を実施したうえで外科切除あるいは術前補助化学療法後に外科切除を予定している患者さん</p> <p>〔研究期間〕 研究実施承認日 ～ 2029年2月28日</p> <p>〔利用方法〕 診療録(カルテ)から、治療に関する情報を収集し、電子データとして、代表研究者(和歌山県立医科大学 内科学第二講座)へ報告します。代表研究者がデータの集計を行い、統計担当研究者(和歌山県立医科大学 臨床研究センター)が集計されたデータの解析を行います。具体的には病名や臨床経過、内視鏡検査、CT 検査、X 線検査などの画像所見や血液検査所見などの項目を参照させていただきます。利用する情報から、お名前、住所など個人を特定できる個人情報情報は削除して利用します。また研究の結果が学会や医学論文などで公表される場合がありますが、患者さん個人を特定出来るような情報は一切含まれません。</p> <p>研究計画や研究の方法についての資料を入手・閲覧することを希望される場合は担当医師にその旨をお伝えください。個人情報保護やこの研究の実施に支障を来さない範囲で提示いたします。</p>
利用又は提供する試料・情報の項目	情報：診療録（カルテ）に記載された情報、血液検査結果、画像データ等。

試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名	和歌山県立医科大学附属病院 病院長 西村 好晴
提供する試料・情報の取得の方法	情報：診療録より取得します
提供する試料・情報を用いる研究に係る研究機関名・研究責任者名	北野 雅之 和歌山県立医科大学 内科学第二講座
利用する者の範囲	北野 雅之 和歌山県立医科大学 内科学第二講座
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、下記問い合わせ先まで申し出てください。ただし、情報解析前で試料・情報が個人を識別できる場合のみ対応可能です。
問い合わせ先	愛知医科大学 内科学講座 (肝胆膵内科) 担当者：(職名) 講師 (氏名) 井上匡央 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内線 23480)